

# 産業建設 常任委員会

本会議から当常任委員会に付託された案件は、議案二十一件、陳情六件である。

## 浄化槽整備事業予算

**問** 市設置型浄化槽の使用料が、角館地区と西木地区で違いがあるが今後どうするのか。

**答** 急に料金を一本化するとは難しく、今後五年間で徐々に同じくしていく。

## 労働費予算

**問** 雇用対策は、重点プロジェクトにある地元定着を図るための大事な施策である。特に、高校生等の就職状況はどうなっているのか。

**答** 雇用対策は定住ともつながる問題であり、雇用の場の掘り起こしも行政として考えていく。行政が雇用の場を作り出す

ことは難しいが、民間雇用の場を情報収集し地元雇用を呼びかけていく。角館高校、角館南高校の就職希望者は100%達成している。

## 商工費予算

**問** 行政の企業誘致の対応が見えてこない。

**答** 取り組みに対する、人的予算的等の課題に対応できる対策が出来ていないのではないかと。

**問** 外部の企業誘致セミナー等で仙北市のPRをしているが、現実にはまだ見えてこない。

**答** 今後もPR活動の継続と職員を派遣し、情報収集しながら取り組んでいく。

**問** 合併し、観光の振興を図り他産業との連携を強化することが市の発展に重要な課題であり、そのためには観光協会の統合が必要と考える。

**答** 統合できないのはなぜか。統合について否定も反対もしているつもりはない。統合へ向けての話し合いを今後も進めていく。

地域の今まで築き上げてきた観光資源の特徴を活かした活動については、既存

の観光協会が中心になって、がんばっていただくことが基本的な考えである。

## 土木費予算

**問** 十九年度の土木建設予算の実質発注工事金額はいくらか。十八年度と比較した場合はどうか。

**答** 五億五千三百三十九万円の予算であり、十八年度比較で若干の減である。

**問** 都市計画道路横町線の完成が二十一年まで延びた原因は何か。

**答** 地権者との折り合いがつかず、電線の地下埋設で電力会社と協議が出来ていない。

**問** 古城山公園の賃貸借契約の経緯と賃貸借料の積算根拠、公園の現状、今後の考えは。

**答** 契約は昭和五十年から結ばれ、現在まで三回見直しが行われている。料金の設定はその都度協議の上決定されてきた。

公園に設置されていた遊具は現在はないが、公園広場として市民、観光客が利用している。

平成八年に角館町指定史跡になっており、ランドマーク的な要素も勘案し、今

後も市で管理していきたい。

## 集落排水事業特別会計予算

**問** 施設管理費の委託料の内訳は。

**答** 西木地区五箇所の処理場で発生する汚泥を移動脱車で水分を抜き取りコンポスト化して農地に還元している。発生量は年間三十六トンである。

## 観光費補正予算

**問** 観光施設整備費とテニマリオン計画推進事業費内容は。

**答** 観光施設費は、たつこ姫、田沢湖、駒ヶ岳が望める場所にライブカメラを設置し、全国に発信するものである。

推進事業費は英語版の観光ガイドマップ、市のパンフレット、観光用の仙北市を照会するDVD制作費である。

## 温泉事業補正予算

**問** 水沢温泉引湯管新設工事が減額された要因は何か。

**答** 材質的には当初設計の物と同等品で安価な管に変更し、再度、湯量計算をした結果一サイズ細くしても十分な湯量が確保できると判断した結果である。

委員会では次の意見を付し全会一致で原案を可とした。

### 意見書抜粋

三つの重点プロジェクトの第一に定住対策をあげている。雇用対策と企業誘致は若者の定住促進を図る上で、仙北市の緊急且つ重要課題である。現状では予算、組織体制、係と商工会、市民との連携、人的配慮等の対応が不十分であり、もう一度見直す必要がある。

古城山公園の賃貸借料について、本来の目的である公園としての整備を促進すると共に、賃貸借料の積算根拠を明確にすべきである。



ライブカメラでこのような映像が全国へ発信される